

令和6年度 年間 自己チェック評価表

<<自己チェック表から見えてくるもの>>

3歳以上児・3歳未満児クラス担任代表者、園長

	今年度の評価点 (教育・保育や自己資質等で 高く評価できる点)	今年度の課題点 (教育・保育や自己資質等で より努力を要する点)	次年度の改善点 (教育・保育や自己資質等で 次年度に改善すべき点)
【 クラス 未運 満 児 評 価 】	子どもたち一人ひとりの発達段階や成長を、職員間で共有しあうことで、それぞれの個性に合わせて、より良い援助を心掛けて保育することができた。行事への取り組みにおいては、前年度に比べて、各クラスのリーダーで話し合いや相談をし、共通理解のもと同じ方向に進めていくことができた。	行事の運営においては、役割分担をより明確にし、職員が責任をもって行えるよう、計画を立てサポートする必要があった。また、子供たちの発達に見合った、主体的な活動やあそびを展開していけるように保育する。	保育の質を向上させ都ためにも、職員同士のコミュニケーションを大切にし、互いに意見を出し合い、良い関係を築けるように雰囲気作りを大切にしていける。日々の保育を振り返ったり、研修で学んだことを日々の保育に活かし、職員で共有していけるように努める。
【 クラス 運 上 児 評 価 】	参観やバザー等の園行事を通し、園での子どもたちの様子を保護者に見て頂けたり、保護者同士の交流につながった。支援が必要な子がいるクラスでは、保育者がクラス関係なく補助に入ったり、製作等の手伝い等協力体制がとれていた。また子ども一人ひとりの発達や成長を考慮した関わりができていた。	担任外の保育者が預かり保育時やクラスの補助に入るときや支援が必要な子の保育を行う際に、担任がその子の発達目標のどこに重点をおいているのか、どのような方向性で対応しようとしているのか迷う点が多く、日頃から子どもたちの様子について職員間での共通理解が必要であった。	園での保育の様子等、保護者に向けてもっと発信し、コミュニケーションを深めることでさらなる信頼関係を築くための努力が必要である。また、子ども一人ひとりの興味関心に沿った保育を心掛け、園の伝統や保育者の願いと並行して、子どもの主体的な活動のための環境づくりを工夫していきたい。
園 全 体 評 価	昨年度の改善点を踏まえ、保育者間での話し合い、相談が限られた時間ではあったが出来るよう工夫し、それにより子どもたち個々の成長に合わせた教育、保育、援助等がこれまでよりスムーズに行えた。また、保育参観やその他園行事にも保護者の方々の参加・協力がいただけた。	保育者同士相互理解ができるよう、コミュニケーションをとってはきているものの、園行事や日々の保育の中での支援の必要な園児に対しての、重点目標等においては、保育者間、もうひとつ踏み込んだ共通理解が必要な場面があった。	職員同士のみならず、その時々によつての保護者とのコミュニケーションをこれまで以上に大切にしていけることが必要と考えられる。ホームページやマチコミメール等をもっと上手に活用していける。園での情報を発信していく。
特 記	今年度の評価を踏まえ、次年度「指導計画」に盛り込む目標やねらい ・子どもたちの発達に応じた、子どもの主体的な活動やあそびのための環境づくり ・保護者間の交流が持てるような園行事を計画		